

中執ニュースレター No.4

2005年5月2日発行

東京農工大学職員組合 中央執行委員会

今月号の内容

職場での討議を・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第4回中央執行委員会の報告・・・・・・・・	1
第5回中央執行委員会の報告・・・・・・・・	2
「お花見会」の報告・・・・・・・・・・・・・	3
「野草を食べる会」の報告・・・・・・・・・・	3
家畜病院研修医の雇用打ち切り・・・・・・・・	3
2005年メーデーの報告・・・・・・・・・・・・・	4
4月の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5

職場での討議を

中央執行委員会は、6月の学長交渉に向けて、職員の就業条件と労働環境の改善に向けた要求案（1次案）を作成しました。技術職員や事務職員の定員増、選択定年制の導入、教育職員のサバティカル要求など、今後文案を整理して2次案を作成する予定です。また、組合加入を促進するため、組合費の値下げを提案することにしました。このニュースレターとともに、2つの討議資料をお送りします。職場での討議をお願いします。

第4回中央執行委員会の報告

4月12日に開催した第4回中央執行委員会での議事について報告します。

2005年職員の就業及び教育研究条件等の改善要求について、春闘WGでの検討結果を基に、次のような内容の検討と文案整理をしました。

学長選考制度、大学の管理運営、労働条件、労働環境、特別昇給制度、
合同宿舍、職種別要求事項

特に、各種ハラスメントや職場のストレス増に対応するため、組合側が関与できる人権委員会や相談窓口の開設について、要求することとしました。（討議資料1）

組合費の改訂について、組合活動と組合費のバランスをとり、組合員拡大を図ることを戦略として、以下のような組合費値下げを提案することとしました。（討議資料2）

組合費改定案	職種別階層別の一律料金とする	
(1) 教育職員	教授	: 4.000円
(2) 教育職員	助教授・講師	: 3.000円
(3) 教育職員	教務職員・助手	: 2.000円
(4) 事務職員・技術職員		: 1.000～2.000円
(5) 非常勤職員		: 400円

その他の主な議題です。

1. ペイオフ対策について、2. 教育基本法改悪反対のビラ配布、3. 家畜病院研修医の雇用問題

第5回中央執行委員会の報告

4月19日の第5回中央執行委員会での議事について報告します。
組合員拡大キャンペーンのあり方と実施方策について、検討しました。

組合の位置づけの明確化（法人化に移行し、身分の不安定を守る役割、当局との話し合いの窓口、今後の方向性としてNPO化、町内会化、番犬化、駆け込み寺化）

組合のイメージの改善（パンフレット作成、いつも、誰とでも、気楽、何でも話せる場所、ホームページの充実、コミュニティー重視（運動会、花見、スポーツ観戦等））

入りやすい環境作り（キャンペーン期間を設ける、特典、朝のビラ配り、集中勧誘、組合費の値下げ、加入のメリットの強調）

今後、さらにキャンペーン期間の設定、キャンペーン期間の特典、勧誘の具体的な方法、月別イベントの開催などについて、検討を進めることにしました。

今年のメーデーへの参加について、中央メーデーに参加することにしました。行進後には懇親会を行う予定です。また、4月28日には、メーデー前夜祭で、メーデーの準備をすることにしました。

その他の主な議題は次の通りです。

1. 書記雇用契約、2. 組合新聞の発行、3. 書記局体制、4. 労働協約の締結

「お花見会」の報告

今年度執行部の最大の目標に組合員拡大を掲げており、そのキャンペーン第一弾として4月14日にF Sセンター中庭をお借りして、お花見会を開催いたしました。組合員同士の相互理解を深め、非組合員に組合活動を知っていただく場としました。組合としてのお花見会は久しぶりの開催でしたが、全職員に案内チラシを配布し、メールで声をかけ、事前に職代の方々に非組合員の人たちに声をかけて連れてきていただくことをお願いしました。

当日は天気にも恵まれ、花びらのじゅうたんのもと、皆でバーベキューに集い、ビールやジュース片手に話がはずみました。夕暮れになりライトアップされたヤマザクラがいっそう雰囲気盛り上げてくれました。参加者は30名前後を想定していましたが、事前の広報活動が功を奏し45名もの参加者がありました。これは組合活動に皆、関心があることの表れだと確信いたしました。今後もこのようなイベントやレクリエーションを活発に行い、組合活動をアピールしながら組合員拡大に努めていきたいと思えます。最後に開催にあたりF Sセンターの樋口さん、伊藤さんをはじめとする多くの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。

(記 坂本真一)

「野草を食べる会」の報告

桜の盛りが過ぎた4月20日に、小金井支部組合事務室では恒例の「野草を食べる会」が催されました。新たに組合員となられる方も加わり、賑やかな会となりました。女性組合員や書記の方々に腕を振るっていただき、机の上には明日葉、ゆきのした、たら、いたどり、かきのは、たけのこ、コンフリー・・・などの天ぷら(他に、よもぎにつつじの花を乗せた天ぷらなんかもありました)をはじめとし、きくらげ入りの酢の物、あみがさ茸のバターいためなども揃えられました。ビール片手に「これは何だっけ?」などと聞き合いながら楽しく味見。いやーおいしかったです。天ぷらは、塩につけて食すもよし、八重桜をひと工夫した特製のもの?につけても美味でありました。新緑の季節を感じるひと時でした。

(記 田中邦明)

家畜病院研修医の雇用打ち切り

この問題は、前執行委員会からの引継で進めてきたものです。この件について組合員の皆さんにも知っていただくことが重要との判断から、掲載することとしました。

平成15年4月から雇用されていた家畜病院研修医が、平成17年度の雇用継続を希望したにもかかわらず、雇用が打ち切られることになりました。問題は、平成15年に出面職員の形で雇用されていた研修医に対して、平成16年7月に制定された家畜病院研修医規則を適用したことです。家畜病院側は、研修医に対してこの規則について十分説明しないまま、規則に基づく雇用期限を理由にして、平成17年度の雇用ができないと告げています。

執行委員会は人事課長と家畜病院長に対して、問題の確認と雇用の継続を要求しました。人事課の対応にもかかわらず、家畜病院は雇用の財源がないことを理由にして雇用の継続を拒否したため、残念ながら本件については雇用の打ち切りを回避できませんでした。その後、家畜病院からは雇用手続きの問題点を認識したので今後改善するとの回答がありました。

執行委員会は、増加する各種研究員やRAなどの非常勤職員の雇用条件や労働環境に対して、今後も注意深く対処していく予定です。

2005年メーデーの報告

5月1日に代々木公園で開催された第76回中央メーデーに参加しました。農工大からは15名の参加者がありました。式典では議長団や主催者の挨拶の他、団体決意表明などがあり、最後にメーデーのスローガンと宣言を採択して、行進に入りました。行進は渋谷区役所から渋谷駅前を通り、恵比寿駅までの全長2.5kmでした。途中でテレビ局のインタビューが入ったり、沿道の人々に横断幕に注目してもらったりと、大



学の窮状を少し理解してもらうことができました。行進後は駅近くの居酒屋にて、メーデーの成功と慰労を兼ねて祝杯をあげました。長かった待ち時間のイライラも、この一杯で吹き飛びました。参加者の皆さん、応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

(記 東城清秀)

4月の活動

- 4/1 農工職組号外発行（4月の人事異動）
- 4/6 労金の口座整理（ペイオフ対策）
- 4/7 府中 女性職員懇談会
- 4/7 中執ニュースレターNo.3 配信
- 4/12 第4回中央執行委員会
- 4/12 都大教幹事会
- 4/15 小金井 技官の会
- 4/14 お花見会（府中支部主催）
- 4/18 府中 技官の会
- 4/19 第5回中央執行委員会
- 4/20 野草を食べる会（小金井支部主催）
- 4/26 府中支部職場代表者会議
- 4/26 新農学部長への挨拶
- 4/26 中執緊急協議「事務職員の職務評価」
- 4/28 メーカー準備

編集後記

若葉の美しい季節です。小学校一、二年のころ飼っていたミドリガメを思い出しました。お店に行くと黄緑や薄緑、深緑など色いろな風合いのカメがいました。当時、カメと同じ入れ物で仔ワニも売っていました。今だったらビックリですね。同級生にもミドリガメを飼っている子が何人かいて、みせっこしたものです。ちょうど友達関係が近所の子から学校のクラスメートへ広がった時期でした。小学校中学校と、いろんな子がいましたね。それぞれの家庭の様子も様ざまでした。職に就いて、十人十色を久しぶりに実感したものです。人には皆、事情なり都合がある。ひとつの器に入ったら、お互い気持ちよく生活したいですね。そのほうがきっと豊作でしょう。ワニと一緒にされるんじゃ困るんだけどネ。

（鈴木 馨）

発行 2005年5月2日
東京農工大学職員組合中央執行委員会
TEL: 042-367-5797 (府中)
042-388-7202 (小金井)
E-mail: kumiaif@cc.tuat.ac.jp